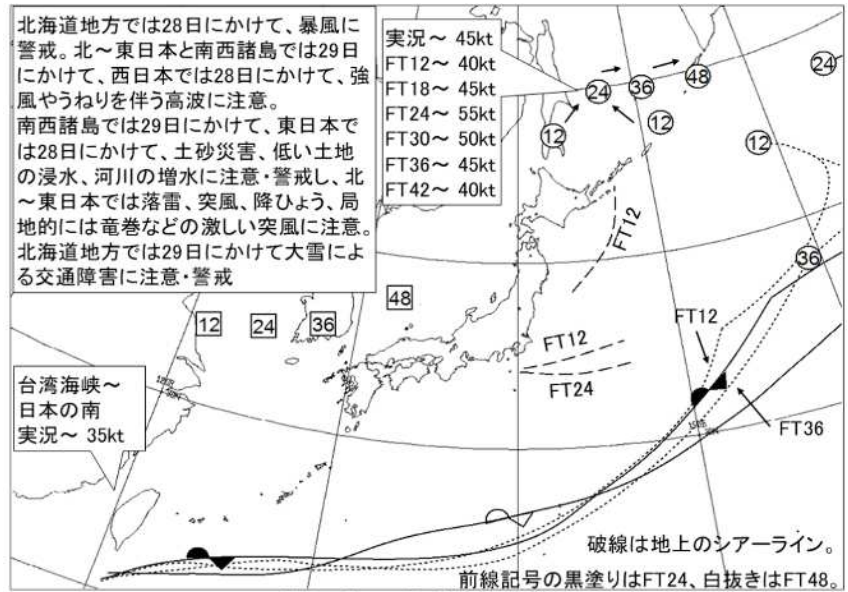


1. 実況上の着目点

- ① 前線を伴った低気圧が釧路沖を北北東進。別の低気圧が宗谷海峡付近を北北東進。大陸の高気圧とこれらの低気圧によって西高東低の気圧配置となり、全国的にやや強い風や強い雨が吹き、波が高くなりしけている所がある。
- ② 日本の東を北東進する低気圧から前線が沖縄の南にのびている。沖縄地方では強い風が吹き波が高くなっている所があり、沖縄の南で雷を検知。
- ③ 地上のシアーラインが東北地方～北陸地方を東進。1時間に20mmの強い雨を解析し雷を検知。関東東海上にもシアーラインがあつて南下。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 27日は、1項①の釧路沖の低気圧が急速に発達しながらオホーツク海へ進み、1項③の東北地方付近のシアーラインが東～北日本を通過。この低気圧は、28日はオホーツク海に進む寒冷渦の直下に入り最盛期となって1項①の宗谷海峡付近の低気圧と一体化して29日は千島の東に進む。一方、華北の高気圧が、29日にかけて黄海から日本海に移動し、北日本を中心に29日にかけて西高東低の気圧配置が続く。低気圧や西高東低の気圧配置の影響で、強い風や非常に強い風が吹き、波がうねりを伴って高くなりしける所がある。北海道地方では28日にかけて、暴風に警戒。北～東日本では29日にかけて、西日本では28日にかけて、強風や高波に注意。低気圧や前線及びシアーラインに向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。また、これまでの雨で地盤の緩んでいる所がある。東日本では28日にかけて、土砂災害に注意・警戒し、北～東日本では落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、28～29日にかけて北海道地方の上空には850hPa -6℃以下の寒気が流れ込むため、北海道地方では29日にかけて、大雪による交通障害に注意・警戒。
- ② 1項②の前線は29日にかけて日本の南～沖縄の南にほとんど停滞する。500hPa 5820m付近のトラフが28～29日は華南から日本の東を東進。前線に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、激しい雨が降って大雨となる所がある。また、2項①の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて波がうねりを伴って高くなりしける所がある。沖縄地方と小笠原地方では29日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。沖縄地方では29日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ## 4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
 - ② 降雪量(18時からの24時間)：北海道40cm。
 - ③ 波浪(明日まで)：北海道・東北5、北陸・沖縄4、伊豆諸島・東海・近畿・中国・奄美3m。
 - ④ 高潮(明日まで)：北～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。